



特集

第26回通常総代会

飛翔 —ともに新たな挑戦へ—



地域と共に安定した農業を

今月の
表紙

はたけやま よしまさ
畠山 佳正さん(38)

紫波町佐比内でキュウリと米を栽培する畠山佳正さん。岩手県立農業大学校を卒業後、実家に戻り、両親とともに農業に従事しています。学生時代はキュウリを専攻し、品種ごとの生育を比較する研究に取り組んだ佳正さん。しかし、その研究成果がすぐに実際の栽培に活かされたわけではなかったといいます。「最も優秀だと思っています。た品種が実家の畑では思うように育たなかったんです」と話す佳正さんは「学校と実家では栽培環境が全く違い、品

種ごとの適性を強く実感しました」と当時を振り返ります。試行錯誤を経て、少しずつ気候や土壌に合った栽培方法を模索していった佳正さん。その過程で培った経験と知識こそが、今の農業の原点となっています。現在、畠山家ではハウスと露地あわせて60aでキュウリを栽培しています。「人手が限られているので、以前より規模は縮小していますが、家族3人で無理なく働ける経営に落ち着いています」と話す佳正さん。その一方で、近年



『食農立国』とは、J A いわて中央管内で生産される農畜産物や地域のブランド化を目指した商標登録名です。J A いわて中央が目指す『食農立国』には、食を囲む人たちと、農業を営む人たちとの繋がりを大切にし、『その食卓の向こうに安全・安心で美味しい農畜産物と美しい農村の風景を提供し続けたい』という思いが込められています。

ハウスキュウリは5月中旬から収穫がスタート。6月下旬から露地キュウリが加わり、8月にはハウスを片付けて再定植。11月中旬まで収穫が続いていきます



最盛期には1日あたり約50ケースを出荷。早朝と夕方の収穫に加えて、草刈りや管理作業に励みます



佐比内エリアの土壌は赤土で粘土質。さらに、畑のある場所は、元は田んぼだったこともあり、水はけの面で難しさがありました。佳正さんは「それでも、ここで長年キュウリ栽培を続けてきたことで、土が良くなってきた実感があります」と話します

目次

CONTENTS

未来へつなぐ食農立国	2
畠山 佳正さん(紫波町)	
特集	4
第26回通常総代会	
飛翔 — ともに新たな挑戦へ —	
NewsFile	8
季節の花と触れあい	
矢巾地域女性部寄せ植え教室 他	
営農情報	10
分げつ期から幼穂形成期の管理について 他	
青年部レポート	12
食べてみて！おらほのイチオシ	
まちのスマイル	13
シリーズ「協同組合を考える」	
サン・フレッシュ都南さ おでつてくなんせ！	
インフォメーション	14
参加者募集	
令和7年度 農作業安全講習会 他	
今月のレシピ	16
豚肉とトマトのしょうが焼き	



JAいわて中央のホームページでは、広報誌のバックナンバーを公開しています。
詳しくはこちら▶



は夏場の猛暑の影響で栽培環境はより厳しさを増しています。「異次元の暑さですよ」と苦笑する佳正さんも、収穫時期の変化などから気候変動の影響を肌で感じているといいます。「朝採りがあるため、涼しい時間は収穫で手一杯。草刈りなどの作業は、日中の暑い時間帯にやらざるを得ず、本当に大変です」と苦労を明かします。

また、キュウリ栽培では病害虫対策が大きなポイント。特に、黒斑病や炭疽病などの病害は、一度発生すると広範囲に被害が及ぶため、常に注意が必要です。佳正さんは「収穫期の後半になると樹勢が弱まり、病害虫の影響を受けやすくなるため、特に気を付けなければなりません。薬剤の使用回数が限られている中で、いかに効率よく効果を上げるかが課題です」と力を込めて話します。

今後について、スマート農業の導入や地域全体で支え合う仕組みづくりが欠かせないと話す佳正さんは「以前は『農業は機械に頼らず、自分の手でやるものだ』という思いがありました。やはり機械の便利さには敵いません。人手不足が進む中、作業の効率化はとても重要だと感じます」と強調。さらに、「これからは一つの農家だけで農業を完結させていくことは難しくなっていく。地域で組織を作り、協力し合っていくことが大切だと思います」と見据える佳正さんは、時代の変化に合わせた農業の在り方を追求しています。

特集

第26回通常総代会

飛翔

— とともに新たな挑戦へ —

第26回岩手中央農業協同組合通常総代会



JAは5月29日、矢巾町文化会館「田園ホール」で第26回通常総代会を開催しました。総代511人のうち404人（うち、本人出席217人、委任状出席0人、書面出席187人）が出席し、令和6年度事業報告及び剰余金処分案の承認、第九次中期3力年計画の設定、令和7年度事業計画の設定など全7議案が審議され、全て原案通り可決されました。

開会にあたり、佐々木雅博組合長は「信用事業では総利益で前年比105%の8億1

得向上に全力を尽くしてまいりたい」と力強く決意を述べました。

300万円、販売事業では米価の上昇や園芸特産品の価格が堅調に推移したことなどが決算の内容に反映された。事業総利益は、計画を1億8900万円、前年を1億3000万円上回る29億700万円となった」として「ひとえに、組合員の皆様のご支援とご協力の賜物と改めて深く感謝申し上げます。さらに、「今後も管内で生産される農畜産物について『食農立国』JAいわて中央ブランドの更なる普及拡大に努め、組合員の所

来賓祝辞の後に、佐々木正春専務が総代会の成立を報告。議長団には、細川勝浩さん（紫波地域）、高橋和志さん（矢巾地域）、鈴木一吉さん（盛岡地域）の3人が選出され、議事の進行に入り、提出された7議案全てが原案通り可決されました。

令和6年度の事業利益は計画を1億7759万円上回る3億2563万円を計上。当期剰余金は2億8562万円となり、4期連続の黒字決算を結びました。

令和6年度の事業利益は計画を1億7759万円上回る3億2563万円を計上。当期剰余金は2億8562万円となり、4期連続の黒字決算を結びました。

提出議案

第1号議案 定款の一部変更について

第2号議案 令和6年度(第26年度)事業報告及び剰余金処分案の承認について

第3号議案 「第九次中期3カ年計画」の設定について

第4号議案 令和7年度(第27年度)事業計画の設定について

第5号議案 令和7年度経費の賦課及び徴収方法の決定について

第6号議案 令和7年度理事に支払う報酬の決定について

第7号議案 令和7年度監事に支払う報酬の決定について



あいさつをする佐々木組長

主な質問と回答

※誌面の都合により編集しています

Q 農林中央金庫の1兆8000億円の赤字について、当JAに何か影響があるか。

A 農林中央金庫は一部のJAおよび連合会に出資を要請しており、岩手県においては岩手県信連が全額応じることを決めているため直接的な影響はありません。ただし、当JAは農林中央金庫に1170万円出資しており、これに伴い、例年30万円前後の配当金を受け取っておりますが、これが今後当面の間は望めなくなると見込んでいます。

Q 令和3年から始まった経営基盤再構築において、支所を再編したが、その後、経営基盤再構築という文言が消えてしまった。支所の再編だけで、経営基盤再構築が成されたかと誤解されてしまっているのではないか。

A 経営基盤再構築は、将来にわたり高水準の総合事業を提供すること

を目標としたものであり、今次中期3カ年計画の中でも引き続き継がれております。4つの柱のひとつに「健全強固な経営基盤の確立」を掲げており、10年後の農業を見据えた老朽化農業関連施設の整備・更新を目標に進めてまいります。

Q 3カ年計画で、有価証券の増加率が顕著に大きい。有価証券の比率を伸ばしていくことについてどう考えているのか。

A 昨今の金利情勢が不安定である中、貸出金残高の伸張や不良債権の流動化が図られることとなれば、有価証券の運用益に頼る必要はないため、買い増しは極力避けられると考えております。あくまで、信用事業収益の補完的な部分であり、積極的な購入を意図したものではないことをご理解いただきますようお願い申し上げます。

感謝状贈呈

永年にわたり、JAの事業運営や地域農業の発展にご尽力いただいた次の方々には感謝状を贈呈しました。(敬称略)

農家組合長

●北上農家組合
(故)高橋 榮

協力組織

●女性部長
戸塚 幸子

●フレッシュ部長
藤倉 千春

生産部会

●花卉生産部会長
高橋 大次郎

●水稻生産部会長
晴山 敏彦

●小麦生産部会長
中山 茂

●りんご生産部会長
北田 正和



総代会に出席された表彰者の皆様

第九次農業振興計画

これまで、JAでは「農家組合員の所得増大・生産拡大」に重点を置き、“『食農立国』JAいわて中央ブランド”の普及・拡大を目指して、農畜産物の販売力の強化に取り組んできました。しかしながら、団塊世代の高齢化に伴い、正組合員の平均年齢は70.6歳となり、農業生産を担う人材の高齢化・減少が深刻化しています。10年前と比較した作目別の部会員数は、米穀分野で1,336人減の3,205人、園芸分野で1,290人減の1,684人、畜産分野で114人減の191人となっており、農業生産基盤の縮小が顕著です。

こうした現状を踏まえ、JAでは今後10年間を見据えた「農業ビジョン2035」を策定し、将来に向けた展望を示しました。このビジョンに基づき策定された「第九次農業振興計画」では、農業生産基盤の維持・発展を最重要課題と位置づけ、組合員とJAが一体となり農業振興に取り組んでまいります。

課題

- ① 農業人材の育成・確保
- ② 集落営農の限界
- ③ 市場の変化に対応した販売力強化
- ④ 環境に配慮した農業
- ⑤ 農地の保全と集落活動の低下

基本方向

- 基本方向Ⅰ 「未来を育む・未来を創る」 農業労働力の確保と人材育成
基本方向Ⅱ 「作る喜び、売れる喜び」 所得の増大と生産性の向上
基本方向Ⅲ 「思いを伝える」 食と農の大切さ、素晴らしさの伝承

重点取組事項の具体的実践方策

基本方向Ⅰ 「未来を育む・未来を創る」

① 新規就農者の確保・定着対策

- 新規** ● 行政機関と連携し、担い手経営体での通年研修制度を創設します。
新規 ● 新規就農者向け研修会を開催し、農業経営の早期安定化を支援します。

② 兼業農家の再構築・農家の活性化対策

- 新規** ● 休日の出前栽培研修会等の実施により、兼業農家の副業に向けた新たな経営体系を構築します。
新規 ● 定年帰農者向け研修会を開催し、農業技術の向上を支援します。

③ 基幹農家成長対策

- 行政機関と連携し、事業承継を支援します。
- 記帳代行支援により、農業経営をサポートします。
- 無料職業紹介所を通じた求人、求職者のマッチングに取り組みます。



TOP INTERVIEW



代表理事組合長
佐々木 雅博

昨年の夏以降、いわゆる「令和の米騒動」とも言われる米不足や価格高騰が続き、連日その動向が報道されています。今こそ、日本農業の将来のために、コメの需給問題について、国民的な議論を展開していく必要があります。

当JA管内の基幹的農業従事者数は、過去20年間で半減し、平均年齢は70.6歳となっています。農業従事者の減少と高齢化が急速に進行しており、その影響で農畜産物の販売高も42.2%減少している状況です。

こうした状況を受け、当JAでは、10年先を見据えた「JAいわて中央農業ビジョン2035」を策定いたしました。農業振興の基本方針として、①農畜産物の安定供給と農業・農村の保全・維持②JA経営基盤の維持と組合員組織の強化③協同の精神に基づく協同組合の価値・役割向上を掲げ、その実現に向けて重点的な取り組みを進めてまいります。

現在、農業は大きな転換期を迎えています。そのカギを握るのは、農畜産物の再生産が可能となる適正な価格形成の実現です。農業は、人の命を支える「生命産業」です。食料の安定供給や農業・農村の保全に向けて、JAの役割をしっかりと果たしてまいります。

基本方向Ⅱ 「作る喜び、売れる喜び」

① 「食農立国」JAいわて中央ブランドの強化

- 直接販売拡充による農家組合員の手取額向上に取り組みます。(米穀)
- 相対販売での販売額増額により、農家組合員の手取額の向上に取り組みます。(園芸特産)
- アイコープ豚・しわ黒豚の安定供給により農家組合員の所得を確保します。
- トップセールスの実施により、JAいわて中央農畜産物の普及拡大に取り組みます。
- 消費宣伝会を実施し、顔の見える農畜産物の販売活動を展開します。
- 商談推進を通じた米の複数年契約に取り組みます。
- 輸出事業による農家組合員の収益、生産意欲の向上に取り組みます。

② 農業生産力の向上

- 新規** ●農作業の省力化を目指したスマート農業の普及・拡大に取り組みます。
- 大型経営体への水稻直播栽培技術の普及推進に取り組みます。
- 新規** ●グリーンな栽培体系への転換に取り組み、環境負荷低減に努めます。
- 新規** ●兼業農家へ園芸品目を推進します。
- 果樹改植事業を推進します。
- ゲノム育種価等を活用した保留・導入により、優良繁殖牛の整備を実施します。

③ 農業経営の安定に向けた支援

- 価格面で有利な肥料・農薬の予約購入を推進し、農業生産コストの低減に取り組みます。
- 新規** ●Web受注システム※を導入し、組合員の利便性向上に取り組みます。
- 新規** ●人工授精や削蹄に係る人材育成を目指し、後継就農者への資格取得を推進します。

※組合員・利用者の皆様がスマートフォンやパソコンからインターネットを通じて生産資材を注文できるシステムです

④ 安全・安心な農畜産物生産の推進

- 新規** ●国際水準GAP・岩手県国際水準GAPを推進し、安全・安心産地の普及に取り組みます。

基本方向Ⅲ 「思いを伝える」

① 地域貢献活動による安全・安心産地のPR

- 農作業体験等により、生産者、消費者、企業との交流活動を展開します。
- 青年部との連携による食農教育(農作業体験)を実施します。
- 学校給食への豚肉提供により、食育活動を展開します。

② 農業の魅力を伝える広報活動

- イベントを通じ、「地産地消」「国消国産」につながるPR活動を展開します。
- 広報誌や支所だよりを通じ、農業・JAへの理解と共感の醸成を図ります。



福田さん（中央）のアドバイスをを受ける部員ら



季節の花と触れあい 矢巾地域女性部寄せ植え教室

J A矢巾地域女性部は5月20日、盛岡市三本柳のサン農園でレディースセミナー「寄せ植え教室」を開きました。教室には部員10人が参加し、同園スタッフの福田綾さんの指導を受けながら寄せ植えを行いました。

福田さんは水やりの方法や花を長持ちさせるポイントなどを説明し、部員らは花を植える位置のバランスを見ながら、色鮮やかな寄せ植えを完成させました。部員は「花を見ていると心がうきうきする。みんなと作業をすると、より楽しい」と笑顔を見せました。



リンゴの摘花を体験 農作業体験会

J Aは5月15日、農業の仕事に興味がある人を対象とした農作業体験会を開きました。管内から7人が参加し、盛岡市湯沢の藤澤剛さんの園地でリンゴの摘花作業を体験しました。

参加者は作業のポイントについて説明を受けた後、薄ピンクの花が満開の園地で、中心花を残して他を摘み取る摘花作業を行いました。参加者は「久しぶりに外で農作業体験をして楽しかった」「自分が摘花した樹にどんなリンゴが出来るか見てみたい」と感想を寄せました。



藤澤さん（左から2番目）の説明を聞く参加者ら



のびのびと過ごす牛の親子



健康で元気に過ごして 区界牧野で放牧始まる

盛岡市営の区界牧野では、5月16日から牛の放牧が始まりました。牛の放牧は、畜産農家の労働負担軽減や飼養コストの削減を目的として、毎年実施されています。同日には、短角種65頭が山上げされ、健康状態などを確認後、広大な牧草地へ放たれました。

今年度は都南地域と盛岡地域の22戸から短角種69頭と黒毛和種25頭が放牧され、期間は10月17日頃までを予定しています。入牧を見守った畜産農家は「秋まで山で元気に過ごしてほしい」と期待を込めました。

・SDGsへの ・取り組み

SDGsとは、2015年に国連193の加盟国で採択され、環境問題や社会問題などを解決し、2030年までに「持続可能な世界を実現する」ための世界共通の17の目標です。
JAいわて中央では事業活動や行事などを通じてSDGsの実践に取り組んでいます。



泥の感触を楽しみながら植え進める児童ら



米づくりを学ぼう！ 盛岡市立飯岡小学校

盛岡市立飯岡小学校の5年生53人は5月19日、もち米「ヒメノモチ」の田植えを体験しました。児童らは、生産者やJA担当者の指導のもと、手植えに挑戦。参加した児童は「泥の感触に驚いたけれど、最後まで植えることができて良かった」と振り返りました。

毎年、同校の5年生は総合的な学習の一環で田植え体験を行っており、9月には稲刈り体験を予定しています。体験をサポートした浅沼清一さんは「通学時に苗の生長を見守ってほしい」と呼びかけました。



良品質と安定収穫に向けて確認 ズッキーニ現地指導会

JAは5月28日、盛岡市と紫波町で今年度1回目のズッキーニ現地指導会を開きました。

紫波町土館の圃場で開いた指導会には、生産者やJA担当者ら14人が参加し、気象経過や予報、今後の栽培管理や病害虫対策のポイントなどについて確認。野菜生産部会ズッキーニ専門委員会の小田中信二委員長は「今年は雨が続き、生産者の皆さんは圃場の準備に苦労していると思う。異常気象に負けず、安定的に出荷できるよう頑張っている」と呼びかけました。



種苗会社の担当者から説明を聞く生産者ら



15日に盛岡市羽場で行った指導会には生産者9人が参加しました



あら摘果の早期完了を リンゴ現地指導会

JAは5月15日・16日の2日間、管内16会場で今年度2回目のリンゴ現地指導会を開き、摘果や病害虫防除のポイントを確認しました。

果実の肥大促進と翌年の花芽形成を図るためには満開後30日頃までにあら摘果を終えることが重要として、摘果の判断基準や品種ごとの作業手順、最終着果量の目安などについて情報を共有。JA担当者は「病害虫防除は早期発見と早期処置が重要。二次感染を防ぐため、適期作業を心がけてほしい」と呼びかけました。

米穀

分げつ期から 幼穂形成期の管理について

今月の担当
サブセンター盛岡
米穀課 穴山 沙稀



育苗期間中は気温の寒暖差が大きくヤケ苗の兆候が見られましたが、比較的順調に生育しました。

稲を丈夫にするためには、今後の水管理が重要になります。生育に合わせた適切な水管理を行いましょう。

1. 分げつ期

(6月上旬～下旬)

田植え後の苗は、茎が徐々に枝分かれます。これを「分げつ」と言います。分げつを促進させるためには、気温の高い日は浅水管理（水深3～5cm）を行い、圃場の水温や地温を高めます。また、最高気温が15℃以下の低温時は葉先が出る程度の深水管理を行います。除草剤の効果を持続させるためにも、

この期間は田面を露出させないようにしましょう。

また、生ワラや堆肥を施用した圃場は気温の上昇とともに、カナ（表層剥離・藻類）やガス湧きが発生しやすくなります。発生した圃場は稲の生育を抑制しますので、短期間で水の入れ替えを行い、稲の健全な状態を保ちましょう。

2. 中干し

(6月下旬～7月上旬)

中干しは、根の伸長促進や無効分げつ（穂にならない茎）の発生を抑える作業です。目標茎数（表1）を確保したら田面から水を全部落とし、田面に小さな亀裂ができ、軽く踏んで跡がつく程度に7～10日間乾燥

品種名	6月下旬の目標茎数 (60株/坪植え)
銀河のしずく ひとめぼれ	25～30本
ヒメノモチ	20～25本

【表1】 品種ごとの目標茎数

させます。その後は間断灌水を行い、ゆつくり水を入れます。急に水を入れると根が弱まるので徐々に入れましょう。また、溝切りを行うことで排水の悪い圃場の水管理が容易になり秋作業を楽にします。

3. 除草剤

一発除草剤で雑草を取りこぼした圃場は、雑草の種類に応じて中期除草剤（表2）を散布します。ただし、特別栽培米ではバサグラン以外の使用は出来ないの注意してください。

薬剤名	適用雑草
クリンチャー	ノビエ
バサグラン	ホタルイ、シズイ、クログワイ
クリンチャーバス	ノビエ、ホタルイ、シズイ、クログワイ
レブラス	

【表2】 中期除草剤

4. 幼穂形成期

中干し終了後、出穂25日前から幼穂形成期となります。この時期の水管理は4～6cmの湛水状態にしますが、低温にあたりとねが形成されない障害不稔が起きやすいため、低温予想時には深水管理で茎の中の幼穂を保護しましょう。



子牛市場情報 (令和7年5月22日・中央家畜市場)

地 区		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比	地 区		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
雌	紫 波	17	615,000	381,000	474,471	302	-38,529	去勢	紫 波	24	741,000	366,000	600,750	334	-14,345
	矢 巾	2	552,000	476,000	514,000	335	-7,143		矢 巾	6	633,000	597,000	616,333	354	2,520
	盛 岡	7	576,000	402,000	474,714	307	-39,619		盛 岡	5	659,000	542,000	607,600	341	-49,862
	J A 計	26	615,000	381,000	477,577	306	-37,166		J A 計	35	741,000	366,000	604,400	339	-21,300
	市場計	132	661,000	197,000	485,765	297	-5,624		市場計	195	954,000	366,000	607,103	337	-15,512

生産者 & JA 共同購入コンバイン絶賛発売中!!



型式 YH448AEJU

メーカー希望小売価格
670万円(税抜)

4条刈り

51.5 馬力
(クロス)
48.4 馬力
(ネット)

稲作生産者の皆さまの声を反映した共同購入コンバインは、令和5年12月の発売以降、多くのお問い合わせ・購入のご相談をいただいております。この秋の収穫作業に向けたご購入を検討されている生産者の皆さまは、お早めに農機センターまでご相談ください。

主な機能

- 車体水平制御
- 常時駆動方式(FDS)
- 自動こぎ深さ制御
- オーガ自動制御(旋回、収納)
- 刈取オートクラッチ
- 掻きこみペダル
- 手こぎ安全装置
- オートデセル
(エンジン回転自動制御)
- 無給油でおおむね1日作業
(おおよそ6時間を想定)が
おこなえる燃料タンク(43ℓ)

JAいわてグループ
農業機械フェア2025

日時 6月20日(金)～21日(土)

9:00～15:00

会場 JA江刺本店前特設会場
(奥州市江刺岩谷堂字反町362-1)共同購入コンバインを展示します。
ぜひご来場ください!

お問い合わせ JA農機センター ☎697-3133

パート作業員募集中!

募集期間 令和7年9月～11月頃まで

(各就業場所で定員になり次第、募集を終了いたします)

応募方法 QRコードを読み込み応募フォームからお申し込みいただくか、それぞれの就業場所までお電話でお申し込みください。

応募部門

【園芸部門】

内 容 リンゴや西洋なしの仕分け、箱詰め作業など

就業場所

● 都南選果場

盛岡地域営農センター園芸特産課 ☎638-0011

● 太田選果場

サブセンター盛岡園芸特産課 ☎656-3700

【米穀部門】

内 容 米の受入業務や事務作業、検査業務補助など

就業場所

● 米倉庫(西部・赤石・星山・長岡)、志和ライスセンター
紫波地域営農センター米穀課 ☎672-1582

● 米倉庫(徳田)

矢巾地域営農センター米穀課 ☎697-6211

● 米倉庫(飯岡・見前・乙部)、飯岡ライスセンター
盛岡地域営農センター米穀課 ☎638-0011

● 太田ライスセンター

サブセンター盛岡米穀課 ☎656-3700

その他、就業時間や賃金等の雇用条件は、JAいわて中央のホームページをご覧ください

詳細は
コチラ鉄道施設への飛来物
(農業用ビニールテープなど)に
ご注意ください

写真 架線に引っかかった農業用ビニール

架線(電車へ電気を送る電線)に農業用ビニール等が附着すると、列車に運休や遅れ、場合によっては車両の故障が発生し、多くのお客さまにご迷惑をおかけします。

【飛来物防止のお願い】

- 農業用ビニールテープ、ビニールハウスの被覆資材が風で飛ばないように管理しましょう。
- 風の強い予報が出た際には、あらかじめ片付けを行うなど注意しましょう。

鉄道施設に飛来物が附着したとき、
附着を目撃したときの連絡先



盛岡電力指令 緊急電話

☎651-0012

万一、損害が発生した際には損害賠償請求を行う可能性があります。列車の安全確保へのご協力をお願いいたします。

掲載の内容は、2025年4月現在の情報です。

支援学校で出前授業

児童たちに野菜づくりを指導



プランターにはナスやキュウリ、ミニトマトの苗を植えました。

JAMens青年部は5月27日、岩手県立盛岡青松支援学校で出前授業を開き、小学2年生と6年生の児童10人に野菜の苗の植え方や種まきについて指導しました。今年で9年目を迎える取り組みで、青年部の盟友とJA担当者の4人が参加。児童は盟友から説明を受けながら、学校の畑にサツマイモなどの野菜苗やニンジンの種を丁寧に植えていきました。

児童は「野菜が大好きなので、大事に育てておいしく食べたい。来年もたくさん苗を持ってきてほしい」と笑顔を見せ、JA青年部の山口勝也委員長は「喜んでもらえてよかった。体験を通して野菜づくりに興味を持ってほしい」と期待を寄せました。

盟友
募集中!

【青年部加入のご相談・お問い合わせ】

紫波地域 ☎672-1582 矢巾地域 ☎697-6211

都南地域 ☎638-0011 盛岡地域 ☎656-3700

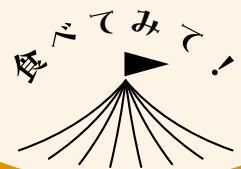


「やわらかく口溶けのよい、
ふあふあ」食感

おすすめは

ふあふあドーナツ

「にぐらっと食堂」に併設するテイクアウト専門店「&GOODONUT」。ドーナツは県産小麦「ゆきちから」を使用し、南部鉄器の鍋を使い米油で揚げているため、食感が軽く食べやすいのが特徴です。生地は前日から丁寧に仕込み、添加物を使わず、カスタードなどのフィリングも全てお店で手作りしています。人気商品の「ふあふあドーナツ」は、刻みチョコ&生クリームのチョコクラッシュやカスタードなど全6種類。さらに、「しっとり生食感ドーナツ」はプレーンとグレーズの2種類があり、季節限定フレーバーを含む、常時約10種類が店頭に並びます。ドーナツのほか、グリルサンドイッチやスペシャルティコーヒーも揃い、気軽に楽しめるテイクアウトメニューが充実しています。



おらほのイチオシ

盛岡市・南仙北

アンドグッドナ

&GOODONUT



〒020-0863

盛岡市南仙北2-22-1

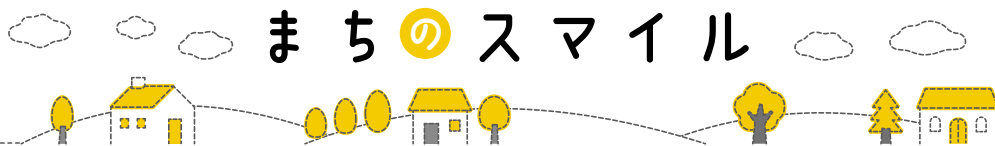
TEL 070-8504-0817

【営業時間】10:00~17:00

【定休日】火曜、第2・4水曜



Instagram



紫波町・土館

鷹背浩司さん・友子さんのお宅

たかのほし たいし

ことね

鷹背 泰司くん(8) 琴子ちゃん(5)

「将来の夢はゲームクリエイター」と話す泰司くんは「泥棒から家を守るプログラムを作りたい!」と意気込み、プログラミングの勉強に挑戦中。理科や社会の勉強も大好きで、図鑑や本を広げて地図や世界遺産を調べることに夢中です。「大きくなったらモデルさんになりたいな」とほほ笑む琴子ちゃんは、幼稚園ではすごろくやトランプ、かるたの時間を楽しみ、家では料理のお手伝いにチャレンジしています。

お母さんは「しっかり者で頼もしい2人。これからも真っすぐ成長してほしいです」と温かく見守っています。

シリーズ



Vol.3

「協同組合」を考える

世界の協同組合

地球規模の協同組合

私たちが日頃から利用している農協(JA)や生協などの「協同組合」は世界中に存在しています。世界の協同組合の連合組織である「国際協同組合同盟」(ICA)には100か国の協同組合組織が加盟し、組合員総数はのべ10億人を超えています。

国による制度の違いはありますが、それぞれの協同組合は、世界共通のルール「協同組合のアイデンティティに関するICA声明」に基づいて運営されています。

現代につながる生協はイギリス、農村・都市部の信用組合(銀行)はドイツ、デンマークの酪農協同組合やフランスの労働者協同組合など、協同組合の多くは、19世紀半ばのヨーロッパで誕生しました。当時、産業革命が進展し、資本家と労働者の間に生まれた階級格差や、都市と農村の地域格差が問題となる中、一人ひとりでは弱い立場の人々が力を合わせ、より良い生活や働き方を求めて「協同組合」が作られたのです。



国際協同組合同年

協同組合はよりよい世界を築きます



2025年国際協同組合同年(IYC2025)に関する情報はこちらから▲



サン・フレッシュ都南さ

おでっくなんせ!



高橋店長

今月の店長のおすすめ!

夏の大感謝祭



写真は昨年の様子

7月5日(土)・6日(日)は、サン・フレッシュ都南店開店30周年記念「夏の大感謝祭」を開催します! 県内外の農畜産物・海産物の販売、農産物の詰め放題、屋台やキッチンカーの出店、ステージイベントなど、楽しい企画が盛りだくさん! 皆さまのご来店をお待ちしております。

イベント情報

● 種苗まつり
6月22日(日)まで

● お盆セール
8月9日(土)~13日(水)



詳細は公式SNSを
ご確認ください



サン・フレッシュ都南

盛岡市下飯岡21-180 TEL 637-6801 営業時間9:00~18:00

CROSSWORD クロスワード

二重マスの文字をA～Dの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

郵便はがきにクロスワードの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、
今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛に
お送りください。正解者の中から抽選で、「JAやサン・フレッシュ都
南で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月の
テーマ

万博開催にちなみ
発明したいもの

応募締切 6月27日 必着

送り先

〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20
JAいわて中央
「JAんぷ6月号お楽しみクイズ」係

＼コチラから／



ホームページ

広報誌プレゼント応募フォーム ▶

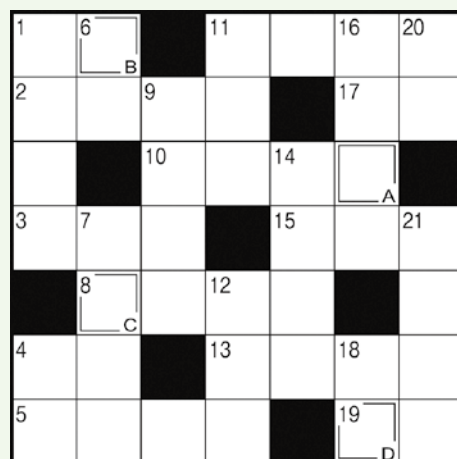
E-mail

kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp

※ご記入いただいた個人情報、おたよりコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。
当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

5月号の答え

「シバザクラ」



→
ヨ
コ
の
カ
ギ

- ① 6～7月はしとしとと降る日が多い
- ② あの部長は—— 掌握術に優れている
- ③ 化学式ではH+やOH-などと表します
- ④ 「桃太郎」でおじいさんが刈りにいったもの
- ⑤ 旧暦6月の異称
- ⑧ 赤、青、黄、鮮やかな——の花々が咲いている
- ⑩ 渋谷駅前の待ち合わせ場所として有名な忠犬——像
- ⑪ 長女から見た次女や三女
- ⑬ 父の日に——をこめてプレゼントを贈った
- ⑮ 生の魚貝などを薄く切った料理
- ⑰ 木の根と枝のあいだ
- ⑲ オニ、テッポウなどの種類がある花

↓
タ
テ
の
カ
ギ

- ① 漢字では紫陽花と書く花
- ④ 肌にできないように日焼け止めを塗りました
- ⑥ 剣道の試合のとき頭につけます
- ⑦ 植物を分厚い本にはさんで作ることも
- ⑨ 1年を基準としたときの3か月
- ⑪ inと表記する長さの単位
- ⑫ 神棚に供える植物
- ⑭ サイン、——、タンジェント
- ⑯ 海の宝石とも呼ばれる生き物
- ⑰ ——に交われば赤くなる
- ⑲ 6月10日は——の記念日です
- ⑳ じょうろやホースでおこないます



おたより紹介 テーマ▶ 自分の気分が上がるとき



姪っ子が「ちいかわ」というキャラクターが好きです。スーパーに買い物に行く時や100均、イオン、マック等いろいろな所でちいかわを見かけては、これ欲しいかなとか考えて写真を撮ったり、姪に連絡してみたり、私もちいかわファンになり気分が上がります。

(日詰・F／45歳)

自分の気分が上がるときは、趣味の懸賞で何か当選したときです。

(北松園・N／34歳)

なんと言っても青空です。さあ、洗濯しよう。掃除するぞ。今日は美味しいものでもつくるか。青い空で、我が家は幸せ気分です。

(津志田・C／72歳)

何でも自分の好きなことをするときです。趣味のボウリング、友人との食事会、ショッピング、仕事等まだまだたくさんあります。考えただけでも楽しくなりシアワセだと感じます。

(北郡山・M／75歳)

仕事を終え、帰宅途中に晩ご飯の買い物をしているときは気分が上がります。

(南仙北・K／66歳)

天気の良い日に自転車を漕いでいるときです。風が気持ちいいです。

(岩清水・S／48歳)

大好きなお風呂の時間にアロマキャンドルを焚いて、ゆっくりするときに気分が上がります。

(二日町・A／55歳)

理事会報告

5月定例理事会が5月26日、紫波支所で開かれ次の事案について決議されました。

【決議事項】

- 1 JAバンクに対する「JAいわて中央不祥事再発防止策（令和7年4月）」の取組状況報告
- 2 令和6年度下半期末監事監査の理事会に回答を求める事項に対する回答
- 3 行政庁に提出する業務報告書及び連結業務報告書
- 4 第26回総代会における組合員等表彰
- 5 ラ・フランス温泉株式会社の取締役候補者の選任
- 6 令和7年度信用の供与等の最高限度額の決定

お詫びと訂正

5月号の記載に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

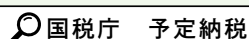
【14ページ・理事会報告】

（誤）3 令和6年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、

所得税の予定納税制度のお知らせ

米の販売価格高騰を受け、令和7年度分の所得税において、予定納税制度に該当する生産者の増加が見込まれます。予定納税制度は、5月15日現在において確定している前年分の所得金額や税額などを基に計算した金額（予定納税基準額）が15万円以上となる方について、その方が一時に税金を納付した場合の負担感を緩和することや、国の歳入を平準化する目的から、その年の所得税および復興特別所得税の一部をあらかじめ納付しなければならないとされている制度です。翌年の確定申告において、確定申告書で計算した税額から予定納税額を差し引くことで、税額の過不足分を精算することになります。

なお、該当者には、6月中を目途に税務署から予定納税額の通知書が発送（通知）されます。詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。





岩手の農業を応援! JAバンク岩手

サマーキャンペーン 2025
～夏のちょきん大作戦～

2025年 6月2日(月) 開始
2025年 8月29日(金) 期間満了

岩手県産フルーツセットプレゼント
抽選 100名様

キャンペーン期間中、県内JAの窓口で対象取引をされた方に「岩手県産フルーツセット」を抽選でプレゼント!

【対象取引】定期貯金(通帳式のみ)新規10万円ごとに抽選権1口
【対象となる方】①JA口座外から新規のご資金を入金いただいた方。
②JAの口座で農畜産物販売代金を受け取っている方。

詳しくはお近くのJAいわて中央窓口まで、お気軽にお問い合わせください

紫波支所 ☎908-6123 矢巾支所 ☎697-6888
都南支所 ☎638-0075 盛岡支所 ☎659-0616

参加者募集 農作業安全講習会

内容 草刈り機械の基本操作と事故のない安全作業(座学・実習)

日時 令和7年7月23日(水) 10時30分～15時 ※昼食付【受付】10時～

場所 JA全農いわて「純情産地営農支援センター」
(矢巾町流通センター南二丁目5-2)

定員 20名※定員に達し次第、募集を締め切ります

申込期限 令和7年6月30日(月)

お申し込み・お問い合わせ

営農販売部担い手対策課 ☎676-3428

広報モニターを募集します

対象

管内(盛岡市・紫波町・矢巾町)在住の満20歳以上の方で、モニター任期が終了するまで継続して管内在住が見込まれる方。さらに、モニターアンケートに全て(毎月1回・全4回)締切日までに必ずご返送いただける方。

内容

広報誌「ほっぷすてっぷJAんぷ」を8月号～11月号までお読みいただき、アンケート用紙にご感想やご意見をご記入の上、返信用封筒でご返送いただけます。

募集人数 4人(応募多数の場合は抽選)

謝礼 5,000円分の商品券
(任期満了時、すべてのアンケートに回答いただいた方)

応募方法 郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、志望動機を記入の上、郵送またはメールにてご応募ください。
※様式は任意です。電話、FAXでの応募は受け付けておりません。

応募先 〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20
企画管理部企画課「広報モニター応募」係
メール:kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp

詳しくはこちら



余剰金処分案及び附属明細書
(正)3 令和6年度事業報告
書、貸借対照表、損益計算書、
余剰金処分案及び附属明細書

新鮮食材で
楽しく
クッキング
今月のレシピ
169杯目



豚肉とトマトのしょうが焼き

材料(2人分)

豚肉(しょうが焼き用など) … 200g
タマネギ … 1/2個
トマト … 大1個
キャベツ … 適宜
塩 … 小さじ1/2
こしょう … 少々
小麦粉 … 適宜
油 … 大さじ1

【たれ】

しょうゆ … 大さじ1
酒 … 大さじ1
みりん … 大さじ1
砂糖 … 小さじ1
おろししょうが … 1片(15g)

作り方

- ① 豚肉は大きければ半分にカットしておく。タマネギは薄切りに、トマトは8等分のくし切りをさらに横半分にカットする。キャベツは千切りにして水にさらし、水気を切っておく。たれの調味料を合わせておく
- ② 豚肉に塩、こしょうをして、小麦粉を薄くまぶしておく
- ③ フライパンを熱し、油を入れて豚肉をこんがりと色づくまで焼き、いったん取り出す。そのままのフライパンで油(分量外)を足し、タマネギを炒める。しんなりしたら豚肉を戻し入れ、①のたれを入れて絡める。トマトを加えてたれとなじんだら、キャベツとともに盛り付け出来上がり

編集後記



佐々木

田植えの取材で、手植えをする様子を撮影するため長靴で田んぼに入りました。田んぼに入ったのは小学生のとき子ども会で田植えをした以来。足を抜く感覚はとうに忘れ「かかとかから抜くように」というアドバイス通りに動かし、手を借りて引き上げてもらいました。私は別な意味で汗をかきましたが、皆さん笑顔いっぱいの田植え体験でした。



小野寺

5月は、田植えや農作業体験、産地研修など、多くの方が農業に触れる機会に恵まれました。まさに、百聞は一見に如かず。自分の目で見て、体を動かすことから得られる学びは、何にも代えがたいものです。実体験の感動には敵いませんが、広報誌ならではの視点で、現場の空気や関わる人の思いを写真と言葉にのせてお届けしたいと思います。

